

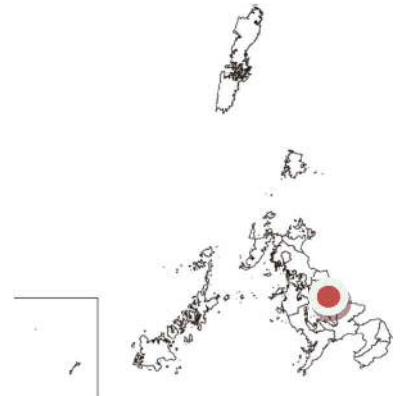
こば 木場地区棚田保全活動組織



日向棚田の風景(上)と景観保全に向けた看板(下)

木場地区の日向(ひなた)の棚田は「日本の棚田 100 選」に認定され、平成 12 年度には「美しい日本の村コンテスト」で全土連会長賞を受賞している。四季折々の美しい景観を楽しもうと年間を通して来訪者が絶えない。

棚田の保全活動に取り組んでいる「木場地区棚田保全活動組織」は、平成 19 年に、既に設立していた中山間地域等直接支払交付金、農地・水・環境保全向上対策の組織を母体として組織され、農道や水路の清掃活動、伝統的な米の掛け干し(天日干し)や都市住民との交流活動の中心的な役割を担っている。これらの活動により、石積み棚田の持つ景観の保全、水源かん養等の機能が維持・発揮されている。



かわたな
長崎県川棚町



棚田掛け干し風景



地区の子供達と行う生もの調査

〔景観の保全、体験学習と教育〕

棚田(農地)の管理は基本的には地権者個々が行うが、農道や水路は年3回地域住民全体で清掃を行う。また、崩れた棚田の復旧には、以前からの石積み景観に配慮した保全を行っている。

地区の子供達に、棚田景観や自然環境の保全の大切さを伝えるために生きもの調査なども行っている。

〔地域社会の振興、伝統文化の継承、地下水のかん養〕

秋の収穫を終えた木場地区では、毎年「木場棚田だんだんまつり」が開催される。地元中学生による吹奏楽コンサート、いのししレース、ウォークラリー、伝統芸能「木場浮立」の披露、火祭りショーなど棚田や集落にちなんだ多彩な催しが行われ、訪れる人は例年 1,000 人規模となっている。「棚田掛け干し米」や、こんにゃく、漬け物などの加工品もまつりで販売され、都市住民との交流や地場製品の販売で地域活性化につながっている。

また、木場地区は県と佐世保市が川棚町に計画している水道用水等多目的ダムの水源地域に位置しており、水源保全の観点から佐世保市はこのまつりの後援者となっている。

木場棚田だんだんまつり



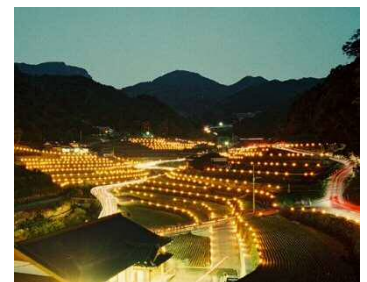
地元中学生によるコンサート



人気の「うり坊レース」



伝統芸能
「木場浮立」



ろうそくが石積みの棚田を縁どる「火祭りショー」